

㉑ ひとり親家庭臨時特別給付金、給付額や制度を決定した経緯、判断は。

㉒ 適正な金額の判断は非常に難しく、様々な考え方があ
るが、ひとり親家庭は保護者の収入が減ると貧困状態に陥りやすく、支援の強化が必要と考え、子育て世帯臨時特別給付金に1万円を上乗せし、対象児童1人につき2万円とした。市ではひとり親家庭を支援するために、6月中に臨時給付金を支給する必要があると考え、国の第2次補正予算に盛り込まれた臨時特別給付金とは別で市独自の「ひとり親家庭等臨時特別給付金」を計画した。

㉓ 新型コロナウイルス対策の小規模企業者緊急応援給付金と茶経営体緊急応援給付金が拡充支援となった。30%の売上減少までが対象となった理由は。

㉔ 当初の制度設計では、国の持続化給付金のつなぎ資金と考え、国と同じ前年同月比50%以上の売上減少を要件としたが、制度を周知したところ「50%減少まではいかないが、30~40%程度の減少では対象にならないか」という問い合わせが多かった。事業者や茶工場に状況を伺うと「コロナの関係での売上減少は5割まではいかない。3割程度ではないか」という声も多かった。そのような声を参考に支給要件を50%以上から30%以上の減少に拡充した。

㉕ 市職員に新型コロナウイルス罹患が必要となった場合に、北館を一時的な代替事務所として使用したり、検査のための施設が必要になった場合に検査場所として提供することを想定し、取り壊しを延期した。



審査 ピックアップ 議案 第43号

菊川市一般会計補正予算(第4号)

令和2年度の事業を行うにあたり、当初の予算に過不足が生じたものについて、その理由などを確認し、課題や問題点などについても議論しました。

審査において
こんな質問がされました

使用期間は定まっていなくても、管理経費は実際に使用するまでは発生しない。

㉖ 庁舎北館の解体を中止し、新型コロナウイルスの対応施設として使用とあるが、どのような使い方が、使用期間に修繕費、光熱水費等の管理費は発生しないのか。

㉗ 小菊荘管理費に計上された委託事業とテレワーク推進事業との関連性は。

㉘ 市職員に新型コロナウイルス罹患が必要となった場合に、北館を一時的な代替事務所として使用したり、検査のための施設が必要になった場合に検査場所として提供することを想定し、取り壊しを延期した。

㉙ テレワーク推進事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るとともに、行動が制限される中でも社会経済活動を維持するため、宿泊事業者が提供するテレワークプランの利用を促進するもので、小菊荘の宿泊室は日中利用もできるためテレワーク推進事業の対象とした。今回、計上し